

1. 感染症速報（壱岐地区）

令和8年3月27日作成

2026年 第12週 3月16日 ~ 3月22日

作成：長崎県壱岐保健所 企画保健課

疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り	疾患名	状況 定点当り
インフルエンザ	🟡	RSウイルス 感染症	😊	咽頭結膜熱	😊	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	😊	急性呼吸器 感染症(ARI)	😊
警報:開始30 終息10	13.67	警報:開始 - 終息 -	0.00	警報:開始3 終息1	0.00	警報:開始8 終息4	1.00	警報:開始 - 終息 -	25.00
感染性胃腸炎	😊	水痘	😊	手足口病	😊	伝染性紅斑 (リンゴ病)	😊	※定点数3:インフルエンザ 新型コロナウイルス感染症 急性呼吸器感染症(ARI) ※定点数2:上記以外の疾患	
警報:開始20 終息12	0.50	警報:開始2 終息1	0.00	警報:開始5 終息2	0.50	警報:開始2 終息1	0.00		
突発性発しん	😊	ヘルパンギーナ	😊	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	😊	新型コロナウイルス 感染症	😊	※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性 の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、 咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支 炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体に よる症候群の総称です。インフルエンザ、 新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭 結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、 ヘルパンギーナなども含まれ、報告数は 重複します。	
警報:開始 - 終息 -	0.50	警報:開始6 終息2	0.00	警報:開始6 終息2	0.50	警報:開始 - 終息 -	0.33		
😊	発生報告 なし	😊	少数の発生あり	🟡	流行に注意 【注意報レベル】	🔴	流行中 【警報レベル】		

※警報レベル基準値は表示のとおり(-は設定なし)。注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

2. トピックス

★インフルエンザが流行しています！

壱岐地区では、定点当たりの患者報告数は第12週で「13.67」と、第11週の「15.00」から注意報レベルとなっています。

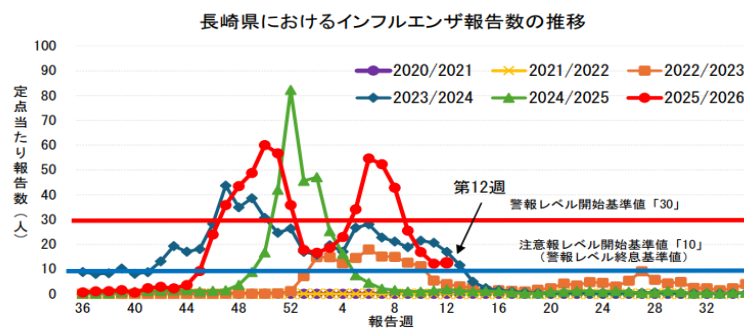
手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。

なお、長崎県内においては、第12週の定点当たり報告数は「12.53」となり、前週よりわずかに増加し、警報レベルの報告数が18週間継続しています。

地区別にみると、10保健所のうち5保健所で警報レベル、2保健所で注意報レベルの報告数となっています。年代別では、10歳未満(49%)、10代(36%)が多くなっています。

参考)長崎県保健研究センターホームページ「インフルエンザ」

参考)厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」



インフルエンザの年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
第8週	1181	715	64	88	84	33	10	7	2
第9週	669	408	47	78	69	15	9	3	2
第10週	486	259	24	38	28	15	5	4	0
第11週	336	190	22	42	23	4	1	2	1
第12週	315	229	16	34	29	11	4	1	0

★春休みを海外で過ごされる皆様へ

海外では、国内に常在しない感染症や、国内よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。ご出発前には、これらの感染症への感染を防止するため、海外で注意すべき感染症や発生情報、予防方法等を次のホームページ等でご確認ください。海外渡航、滞在に際して必要な予防接種は、その国、地域によって異なります。また、複数のワクチンを接種したり、間隔をあけて複数回接種する必要があったりなど、必要な予防接種が完了するまで時間を要する場合があります。十分な時間的ゆとりをもって、予防接種を行うことをお勧めします。

参考)長崎県ホームページ「春休みを海外で過ごされる皆様へ」

参考)厚生労働省検疫所ホームページ FORTH(For Travelers' Health)

参考)厚生労働省ホームページ「海外へ渡航される皆様へ」



★麻しんに注意しましょう

2026年第12週時点での県内の発生報告はありませんが、九州では、福岡県で第12週時点までに1例、鹿児島県では3月18日までに8例の患者が確認され、また、3月25日時点で鹿児島市で集団感染の発生が判明しています。今後更なる感染拡大が懸念されており、人の移動が増える時期、注意が必要です。

1 感染予防とまん延防止のために

- 麻しんの主な感染経路は空気感染で、感染力がきわめて強い感染症です。感染すると10～12日（最大21日間）の潜伏期間の後に、発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- **発熱、咳、発疹、鼻水、目の充血など麻しんに特徴的な症状**が現れた場合は、医療機関に電話で連絡し、指示に従って受診してください。
- 症状の出た日の10から12日前（感染したと推定される日）の行動（海外の流行地や人が多く集まる場所へ行ったかどうか等）について、医療機関にお伝えください。
- 受診の際には、周囲への感染を防ぐため公共交通機関等の利用を控えてください。

2 医療機関のみなさまへ

麻しん患者を診断した場合は、保健所へ直ちに届出をお願いします。

また、麻しんに関する特定感染症予防指針に基づき、ウイルス遺伝子検査を行うため、**患者検体の提供**に御協力をお願いします。

[参考）鹿児島県麻しん情報](#)

鹿児島県



[参考）吉岐保健所ホームページ](#)

吉岐保健所



[参考）長崎県ホームページ](#)

長崎県



★マダニやツツガムシが媒介する感染症に注意しましょう

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、野生動物が出没する環境に多く生息しているほか、民家の裏山、裏庭、畑やあぜ道などにも生息しています。マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。

春から秋（3月から11月）にかけてはマダニ等の活動が活発になり、これらの感染症のリスクが高まります。

マダニ等が媒介する感染症の予防には、ダニに咬まれないことが重要です。野外で活動する際は、長袖、長ズボン、長靴を着用するなどして肌の露出を極力避け、マダニに有効な虫よけ剤を使用して感染防止に心がけましょう。もし、マダニ等に咬まれていたことに気づいた場合、無理に取り除こうとせず、皮膚科等の医療機関で適切に処置してもらいましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診した医療機関では、咬まれた状況などをできるだけ詳細に説明しましょう。

SFTSに関しては、近年、SFTSを発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されています。SFTS以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控え、動物由来の感染に注意しましょう。

[参考）厚生労働省ホームページ「ダニ媒介感染症」](#)

厚生労働省



[参考）長崎県地域保健推進課「ダニ感染症の予防」](#)

県



《スワブ登録トライアル受付終了について》

スワブ登録トライアルにおいては、多くの皆さまにご協力いただき、心より御礼申し上げます。目標としていた「スワブドナー登録 3,000人」が目前となったことから、スワブ登録トライアル受付は、2026年3月26日（木）午前8時50分をもって終了いたします。※26日の営業時間前に切り替わることとなります。

〈今後の流れ〉

トライアル終了後、結果の検証を行い、厚生労働省・日本赤十字社等と調整・協議を重ねたうえで、スワブ登録の本格導入時期を決定する予定です。本格導入は、最速で2026年9月1日を予定しています。

〈トライアル終了後にスワブ登録を希望される方へ〉

トライアル受付終了後にスワブ登録を希望される場合は、以下のいずれかをご確認ください。

- ・本格導入をお待ちいただく
- ・献血とあわせて採血によるドナー登録を行う
- ・保健所窓口にて採血登録を行う

皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

